

一般社団法人 竹資源研究所

竹資源の工業的実践の研究会 (IPBR)

Study Group on Industrial Practice of Bamboo Resources

【設立目的】

- 現在、日本全国で社会問題化している放置竹林問題を単なる厄介者の竹林被害と考えるのではなく、竹の成長の早さや竹の強靱な繊維、含有する成分等の特性を最大限利用することにより、新たな森林資源としての竹の有用性について研究し、国内林業の活性化と新たなマーケットの創造をする事により地域創生につながる事業化推進を目的とする。
- 同時に、放置竹林の管理化により景観の改善はもとより、防災・防犯につながる事業として、また地域の活性化につながる事業の創出として地方自治体と協力し、森林組合を中心とした林業従事者、研究開発機関ならびに各種の意匠を持つ地元企業、流通大手企業等の協力のもと、国への政策提言をおこないながら実証実験を含む研究を進めるものとする。

